



熱塩温泉山形屋

若女将

うりゅう

瓜生

なぎぞ

渚さんに聴く

1986年7月31日生まれ。長女。地元の中学校・高校に進み、大学進学を機に上京。大学を卒業後、旅行会社就職。その後、山形県瀬見温泉「ゆめみの宿 観松館」に旅館修行へ。約4年前に家業の山形屋を継ぎ、現在は3歳の息子の母として仕事と育児に奮闘している。

一流の田舎で何する？会津体験を満喫してみよう！せっかく「一流の田舎」に来たからには、田舎ならではの非日常体験をしなきゃもったいない！山形屋ではご宿泊いただいた前日、または翌日にできるアクティビティ・体験をご提案しています。熱塩地域、車で10数分の市街地周辺には、貴重な体験ができるスポットが盛りだくさん！旅行の記念にぜひお出かけください。



あつしお
熱塩温泉

山形屋

仕事の内容を聞かせてください。

旅館業全般における接客や事務業務のほか、人事やメディア対応。旅館運営や管理、人材育成などが主な仕事です。

ワーク・ライフ・バランスなどの取り組みはありますか。

産休に入る社員へ、積極的に育児休暇取得の呼びかけを行っています。また、短時間勤務制度や予約状況に応じたフレックスタイム制度を導入しており、「働きやすくみんなが輝ける職場」でありたいと思っています。

仕事と家庭の両立で大変なことありますか。

私自身もそうでしたが、旅館が遊び場でした。そのため、従業員の人たちは家族のように接していました。息子も同じく、私たちだけで育てているという感覚はなく、両親や従業員、ご近所さんなど周りの方々の助けがあり、楽しく子育てに向き合えています。ただ、自営業特有の悩みかもしれません。仕事と家庭との線引きが曖昧に

なってしまうのが悩みでもあります。

大切にしていることは何ですか。

当館のコンセプトである「一流の田舎」とは何かを常に考えるようにしています。地元の魅力を伝える場所であり、地域に根付いた旅館でありたいと思っています。山形屋を通してさまざまな方に「喜多方」を体感していただき、地元の活性化に貢献したいです。



笑顔で接客する渚さん

家庭円満の秘訣は何ですか。

自営業ですと四六時中、夫や両親と一緒にいます。つい一言葉がきつくなってしまうたり、身内という甘えが出てしまったりするものです。けんかをするのは仕事のことばかりになってしまいがちで、一晩寝たら忘れるように

しています。そして、家族を信頼し、尊敬する気持ちを忘れないようにしています。

男女共同参画社会とはどのような姿と考えますか。

職種や役職などの仕事面だけでなく、介護や育児などの家庭面においても男女が共存し、協力し合いながら活躍できる社会だと思います。

今後の抱負について

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、今後は外国の方々にも「一流の田舎」の魅力を伝えられるような宿を目指したいと思っています。

また、若女将としてまだまだ半人前です。仕事と家庭を両立しつつ、さまざまな経験を重ねて成長していけたらと思っています。そして、お客様と旅館、従業員と経営者どちらもウィンウィンの関係を築けるような旅館経営に取り組んでいきたいです。

取材内容は市ホームページにも掲載しています。

企画調整課 企画調整班
☎(24)5209